

農業作業における 傷害・事故 防止のために

NPO 法人すずしろ 22



安全への配慮は最優先事項、自己責任のもと 安全確保に 努めましょう

○“だろう作業” から “かもしれない作業” へ
「あぜ道では滑らないだろう」 「すべて ころぶかもしれない」

○フルプルーフ / フェイルセーフ
「万一 転んでも/ミスがあっても 大丈夫」とする対応を考えておく

○事例に学ぶ

人間は体験した事例を身体でおぼえ 再発防止に役立てることができる とか。発生した事例を事前学習して 事故の事前防止につなげましょう。

農の現場での「ヒヤリハット事例」を紹介します

①50cmほどの高さのあぜ道なので平気だろうと跳び下りたら 捻挫してしまった

* くじかかもしれないという予見 → 体力の衰えは 残念ながら 本人の自覚以上かもしれません

②農道で滑って転び 持っていた農具で 怪我をした

* すべるかもしれないという判断 → 転んでも怪我をしないための農具の持ち方

③畑の異物を踏んで 足に怪我をした

* 見えている異物は予想以上に危険かもしれない → 底厚の靴を着用

④支柱立て作業 で ポールがおれて 腹部を痛めた

* ポールは 意外に経年変化で弱っているかもしれません → 折れたポールが身体に当たらぬ体位

⑤グラスファイバによるトンネルづくり作業で 指にファイバの刺をさした

* グラスファイバ 繊維は細く割けることがあります → 手袋は必ず着用

⑥真夏の作業で 熱中症らしきものを体験した

* 帽子は(頭部保護のためにも)必需品 個人の体質・体調にあわせて 十分な水分を身近に確保

⑦鎌による草取りで 鎌がすべり 足先を怪我した

* 鎌が異物に当り 力のコントロールが狂うかもしれません → 手袋 靴の着用

⑧あぜ道がもろく 数メートル下を流れる川まで 転落した

* あぜ道の斜面は 雨がふりますと 意外にもろくなっているかもしれません → 状況の慎重判断

⑨左手で草をつかんで刈るとき、右手の鎌で左指を切ってしまった

⑩材木を二人で運び、降ろすとき、掛け声をかけなかったため、タイミングが合わず、一人の足の上に材木が落ち、足の指を骨折した

刈払機による作業は事前の教育が必要

トラクタ運転・チェーンソー作業は禁止

体験した ヒヤリハット事例 を 連絡してください。事故防止に活用させて下さい。